

(第1号)

平成27年8月1日発行

社会福祉法人心愛志太  
発行人 戸塚 義和  
〒426-0002 藤枝市横内532番地  
電話 054-644-8632  
FAX 054-646-4157

# 心愛志太だより

## 新体制発足

平成27年4月1日開催の理事会にて新体制が発足する。理事互選の結果理事長に戸塚義和を選任する。村田みつ前理事長は、顧問に就任する。

### 理事長就任あいさつ

理事長 戸塚 義和

さる4月1日付けで社会福祉法人心愛志太の理事長に就任しました戸塚義和でございます。

大任の重さと責任の重大さを痛感すると共に法人の健全経営、維持、発展に全員一丸となって臨む所存です。

心愛志太の一番の目的は定款にありますように利用者の人としての尊厳を守り自立した生活が地域社会でできるように支援することです。また、法人心愛志太にかかわる全員が自主的にその経営基盤の強化を図ると共に福祉サービスの向上に努め地域福祉の推進を目的とします。さらに障害者福祉の立場から障害者に対する人権擁護と寛容さあるいは献身的努力も求められていると考えます。

世界人権宣言にもありますように「全ての人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である」という事です。

心愛志太にはサポートして頂いている組織が2つあります。一つは、NPO 法人藤枝心愛会(家族会)であり会員150名、来年は設立50周年を迎えます。県の精神保健福祉連合会も高い評価と信頼と期待を寄せてくれています。

もう一つは後援会です。会員約100名、今年が発足10周年を迎えます。会長は県議会議員の佐野愛子氏であります。激務の中、感謝と敬意を表したいと思えます。



理事長戸塚義和から前理事長村田みつへ感謝状

また、両組織とも多くの市議会議員の皆様にご支援、ご協力を頂き心より感謝、お礼を申し上げます。

こう考えますと心愛志太は古い歴史もあり多くの皆様に支えられ高い評価と信頼と期待を寄せられているのも事実です。これらの期待に応えるため、あるいは福祉事業に携わる者としての強い情熱と使命感も必要です。

我々がこの法人を確実に引き受け発展させて次世代に引き継ぐ事は精神障害者のみならず障害者全般あるいは地域福祉あるいは藤枝市の福祉行政に役立つものと確信しております。幸い私の周りには素晴らしいブレインの皆様が大勢いてくれます。この皆様の比類なき英知を結集し社会福祉法人心愛志太のために絶大なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、私の四つの方針を提案致します。

1. コーポレートガバナンス、コンプライアンスに象徴されるように健全な法人経営を目指す。

単に不正防止に留まらず規律、モラル等を含め更には、生きがい、働きがいのある職場作りを目指す。

2. 地域に根差し地域と共存共栄を目指す。

心愛志太の立派な建物及びびそこで生活する人々全てが地域の財産であり仲間であります。「会う人皆師匠」の言葉通り周りの人々が皆、人生の鏡であり

縮図です。また、偏見や誤解を解く努力も必要ですし周りの皆さんに実情、実態を正しく理解して頂く努力も必要です。

3. 医学・医療の発達で障害者が長生きできるようになりました。反面、両親、家族にとって一番の悩みは我々の亡き後どうするかと言う問題です。

本人、両親、家族を含め一番の幸せは何か、幸せになる為にはどうしたら良いのか？

永遠のテーマかも知れませんが皆さんと共に考え行動し実現に向けて頑張りましょう

4. 心愛志太は主として精神保健福祉施設です。かけがえの無い、数少ない精神障害者施設として地域福祉の重要な一旦をも担っており今後の施設としての方向性も重要なテーマです。

以上縷々申し述べましたが今私の考えている事、あるいは目標、方向性を共有する事によって冒頭にも述べましたように全員一丸となって力強く前進できるものと確信しております。

皆様の前向きな積極的で柔軟なご意見を拝聴しつつ物事を一步一步前に進めてゆきたいと思えます。また、公金を預かる法人として兜の緒を締め襟を正してゆく事も大切です。

どうかこれから皆様が心愛志太に残す足跡が本望、本懐であります様心よりご祈念申し上げます。

## 役員・評議員

平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日  
任期の役員・評議員は以下の通りです。

顧問 村田 みつ

理事長 戸塚 義和

理事 松下金之助 青地 鑛治 小野 清子  
横山 彰雄 星崎 修

監事 四ノ宮信夫 高橋 恵秋

評議員 戸塚 義和 松下金之助 青地 鑛治  
石川 達朗 池谷すま子 伊柳 實  
大石 範子 柴山 久義 田中 洋行  
出木 充 春木イツ子 松尾 敏郎  
水野 久男

## 苦情解決第三者委員

任期 平成27年4月1日～平成29年3月31日  
第三者委員 松岡 紋子 向島 すゞ

## 理事会・評議員会報告

平成26年度に実施された評議員会・理事会について以下の通り報告します。

### ○ 評議員会

・平成26年 5月22日開催

平成25年度事業報告(案)、平成25年度決算(案)が審議、承認される。監事より平成25年度業務監査結果及び会計監査結果の報告

・平成26年 11月27日開催

平成26年度中間監事監査報告、平成26年度前期事業報告(案)、平成26年度資金収支第一次補正予算(案)、規程変更(役員報酬、経理規程)、新規事業検討の件が審議、承認される。

・平成27年 2月19日開催

定款変更、規程変更(役員報酬、経理規程、就業規則、給与規程、運営規程、公的資格取得支援制度運用規程)の件が審議、承認される。

・平成27年 3月26日開催

社会福祉法人に対する指導監査の実施結果及び改善計画、中間監事監査結果に対する改善計画、平成26年度資金収支第二次補正予算(案)、平成27年度事業計画及び予算(案)、苦情解決取扱規程、理事・監事選任が審議、承認される。

### ○ 理事会

・平成26年 5月22日開催

平成25年度事業報告(案)、平成25年度決算(案)が審議、承認される。監事より平成25年度業務監査結果及び会計監査結果の報告

・平成26年 7月31日開催

新規事業の件が審議される。

・平成26年 11月27日開催

平成26年度中間監事監査報告、平成26年度前期事業報告(案)、平成26年度資金収支第一次補正予算(案)、規程変更(役員報酬、経理規程)、新規事業検討の件が審議、承認される。

・平成27年 2月19日開催

定款変更、規程変更(役員報酬、経理規程、就業規則、給与規程、運営規程、公的資格取得支援制度運用規程)の件が審議、承認される。

・平成27年 3月26日開催

法人監査結果及び改善計画、中間監事監査改善計画、諸規程が審議、承認される。

# 社会福祉法人心愛志太 決算報告

## 貸借対照表

平成27年3月31日 現在

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	56,428,845	流動負債	4,765,177
（内たな卸資産）	50,941	固定負債	552,800
固定資産	67,593,018	純資産	145,360,752
その他の固定資産	26,656,866		
（内設備整備等積立預金）	7,500,000		
（内人件費積立預金）	6,500,000	次期繰越活動収支差額	56,409,752
資産の部合計	150,678,729	負債及び純資産の部合計	150,678,729

## 事業活動収支差額

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

支出の部		収入の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
就労支援事業支出計	9,932,662	就労支援事業収入計	9,492,570
福祉事業支出計	63,985,210	福祉事業収入計	82,293,068
事業外活動支出計	537,250	事業外活動収入計	536,807
合計	74,455,122	合計	92,322,445
当期活動収支差額			17,867,323
前期繰越活動差額			47,542,429
当期末繰越活動収支差額			65,409,752
その他の積立金積立額			9,000,000
人件費積立金積立額			1,500,000
施設設備整備積立金積立額			7,500,000
次期繰越活動収支差額			56,409,752

## 資金収支計算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

支出の部		収入の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
就労支援事業支出計	9,492,570	就労支援事業収入計	9,492,570
福祉事業支出計	61,181,259	福祉事業収入計	78,592,875
施設整備等支出	130,312	施設整備等収入計	0
財務活動支出計	12,419,400	財務活動収入計	1,620,000
合計	83,223,541	合計	89,705,445
当期資金残高			6,481,904
前期末支払資金残高			45,143,349
当期末支払資金残高			51,625,253

## 理事長退任そして顧問へ

顧問 村田 みつ

この度社会福祉法人心愛志太の理事長に戸塚義和氏が就任されました。戸塚氏は横内の方であり、法人の役員として数年来、お付き合いをして戴いてきました。障害者に対する愛情が深く、事業に対しての的確な判断をなさる方ですし積極性のある方です。戸塚氏の理事長就任は、誠に有難く安心この上の無い喜びです。私任中は至らないことが多く多数の方からご支援を戴きました。有難く感謝申し上げます。

無認可の作業所を社会福祉法人化したのは平成15年でした。神尾芳典氏が平成14年に藤枝第一心愛の所長に就任し、心愛志太の事務局長となった初仕事でした。社会福祉法人になったとはいえ藤枝第一心愛と藤枝第二心愛の事業所を抱えただけの小さな規模の法人組織でした。

法人経営の目標の中には、二事業所の充実とグループホーム、活動支援センター運営をすることを念頭に置いていました。

平成24年2月にグループホームの設置ができました。岡部町にある県営やよい団地の中に4人の利用者を迎えて開設できました。松下理事の根気良い関係官庁への働きかけがありました。世話人は食事づくりの他に生活の仕方のアドバイス、少しずつ金銭の使い方も良い方向に気づかせるように経費の記入をすること等も面倒をみてくださっています。現在、単身生活の障害者が増加している現状からみて、グループホームの増加は、どうしても必要です。

なお、地域活動支援センターを絶対に必要と私は考えていました。平成24年4月に藤枝駅南の前島2丁目、アピタ近くの村田ビルの3階に開設をいたしました。当初は広いと思った会場が利用者の増加により狭くなっている現状です。そこは相談室を設置できる余裕がありません。駐車場も不便なので、なるべく早く移動設置する必要があります。

気安く通える地域活動支援センターは、そこに通う人たちの心をほぐし笑顔を呼びます。生活する喜びを味わい、自立へ向かう気力と自信が育まれる居場所です。

長期入院をした人の退院後、また、長年閉じこもっていて回復途上にある人の生活訓練の場、働く場としての小規模な作業所も欲しいです。

設置する場所は、いくつかの困難を打開しなければなりません。何とか見つけたいと思います。

新理事長戸塚氏をはじめ、理事、事務局長、評議員一同で必死になり動いています。

他面にわたり資金が必要です。困難は山ほどあります。でも行政や皆様のお力をお借りして、精神の障害者の誰もが安心して地域社会で暮らせるように、生活技能、自己管理をできるように育てる場所を私は今よりもっと欲しいのです。

どうぞ、皆様お力をお貸し下さい。

## 顧問 「村田みつ」との30年

理事 松下金之助

村田顧問には、社会福祉法人心愛志太理事長として12年、それ以前の心愛会会長時から、長年の施設運営ご苦労さまでした。私が藤枝保健所勤務当時、顧問は2市2町心愛会婦人・研修部長。

これから30年程の付き合いのなかから、顧問の“人使い”の事例を少しお話しします。

- ① 20数年前福祉事務所勤務の時には、「生活保護の話」の講師の依頼
- ② 18年前退職すると、直ぐ「心愛会入会」勧奨
- ③ 第二心愛建設の際、「“2市2町には6か所の作業場が必要”との藤枝保健所当時の松下の発言を目標にしてきた」と協力の要請

村田顧問が目をつけ、活動に引き込んだ者は多い。私も静岡で小さな団体の事務局6年程の後、現在まで「心愛会・心愛志太」と関わり過ごしています。

村田顧問、理事長から立場は変わりましたが、これからも“大所高所”から心愛志太を見守って下さい。

